

開催要項

① テーマ

生きづらさを抱える時代に、社会福祉士は何を果たすのか！
～災害、貧困、差別、虐待、そして2040年問題へ～

② 趣旨

近年、社会情勢は一層多様化・複雑化し、生きづらさを抱える人々は増え続けています。それに伴い、社会福祉士が活動すべきフィールドも拡大し、より広範な課題への対応が求められるようになっていきます。

熊本県は、水俣病やハンセン病問題、度重なる地震や豪雨災害といった深刻な困難を経験してきた地域である一方、赤ちゃんポストの設置やTSMCの進出等、全国に先駆けた取組を行う革新的な土地柄でもあります。

このような環境で支援を続けてきた私たち社会福祉士には、これからも多領域・多職種と連携しながら地域社会の課題に向き合い、その実践を広く社会に発信していく責務があります。本大会では、テーマを「生きづらさを抱える時代に、社会福祉士は何を果たすのか！」とし、基調講演・シンポジウム・分科会を通じて、多様化する課題に対し社会福祉士が果たすべき役割を再確認するとともに、未来に向けた実践の方向性を追求することを目的としています。

③ 日時

2026年11月28日(土)・29日(日)

11/28 13:00～17:00 (受付開始 12:30)

11/29 9:30～11:50 (受付開始 9:00)

※2日目の午後より九州・沖縄ブロックの「会長・事務局長会議」、「ばあとなあ連絡会議」「生涯研修連絡会議」「災害担当者会議」を開催し、その後合同会議を行う予定です。

④ 場所

くまもと県民交流館パレア (メイン会場:パレアホール)

〒860-0808 熊本県熊本市中央区手取本町8-9

電話番号 096-355-4300

⑤ 対象者

都道府県社会福祉士会会員、一般、学生

⑥ 定員

300名

